

## 名称

(仮称)福島県周産期医療人材養成支援センター



正式  
名称

ふくしま子ども・女性医療支援センター

## 11月1日 準備室設立

### ● 準備室長

水沼 英樹特任教授 (日本女性医学学会理事長、弘前大学大学院 産科婦人科学講座教授)

### ● スーパーバイザー

吉村 泰典副学長 (内閣官房参与(少子化対策・子育て支援担当)、慶応義塾大学名誉教授、  
日本産科婦人科学会顧問)

阿部 正文総括副学長

### ● 構成員

関係教授等

# ふくしま子ども・女性医療支援センターについて

安心して子どもを産み、育てやすい 福島県へ

## 福島県立医科大学

### ふくしま子ども・女性医療支援センター準備室

準備室長:

**水沼英樹特任教授**

(日本女性医学学会理事長、弘前大学大学院 産科婦人科学講座教授)

スーパーバイザー:

**吉村泰典副学長**

(内閣官房参与、慶応義塾大学名誉教授、日本産科婦人科学会顧問)

**阿部正文総括副学長**

構成員: 関係教授等

→ 医師招へい活動を展開

### ふくしま子ども・女性医療支援センター (平成28年4月開設予定)

・周産期医療を中心に、妊娠の前段階から妊娠、出産、子どもの成長、女性の生涯にわたる健康を一貫して支援



・福島県立医科大学の産婦人科講座・小児科学講座と連携し、子どもと女性の医療に携わる医師を養成する。

招へい

・周産期を中心とした、子ども・女性医療の従事者を養成出来る優れた人材の招へい

指導

・指導できる人材による実践・教育 (県立医科大学内、県内拠点病院等において)

養成

・県内の周産期等医療水準の向上  
・県内における産婦人科医、小児科医の増加

[センタースタッフ構成]

センター長

産科婦人科医、小児科医 計5名程度 等

スーパーバイザー

[活動内容]

- ・全国から産婦人科、小児科等の医師招へい活動を実施
- ・医大(附属病院)での高度診療・指導
- ・県内拠点病院に対する医師派遣を通じた支援
- ・スキルアップのための講習会・研修等の実施

連携・協力

大学(講座)

産科婦人科学講座: 教育・研究

小児科学講座: 教育・研究

専門人材による実践と教育を通じた人材の養成

医療支援人材養成

医療支援を通じた人材の養成

福島県内

地域周産期母子医療センター(5)  
※大原総合病院、太田西ノ内病院、国立病院機構福島病院、竹田総合病院、総合磐城共立病院

地域小児医療センター(4)  
※大原総合病院、太田西ノ内病院、竹田総合病院、総合磐城共立病院

この他中核的な周産期・小児医療機関

附属病院

ふくしまいのちと未来のメディカルセンター棟に子どもと女性の安心のための2つのセンターを拡充・新設

総合周産期母子医療センター

【入院】産婦人科病床 31床

24H体制 MFICU【母体・胎児集中治療室】9床(+3)

24H体制 NICU【新生児集中治療室】15床(+6)

GCU【継続保育室】12床(+4)

→ NICU等の拡充により県内の妊産婦・新生児をカバー

【外来】: 産科婦人科、不妊治療 等

こども医療センター

【入院】小児用病床 58床(+12床)

24H体制 【新】PICU【小児集中治療室】8床

→小児病床の拡充、小児専用集中治療室の新設により、県内の小児救急・重症患者をカバー

【外来】小児科、小児腫瘍内科、小児外科 等

受入能力・機能強化による支援

魅力ある研修体制の構築により、県内外から産科婦人科医、小児科医を志す医師が集い定着することをめざす